

「Sliding to your destiny (運命にスライディング)」は2006年にリー・スロゲットが40代半ばになってリリースした全作オリジナル曲のデビュー作だ。リー・スロゲットは12歳でギターを習い始め、若い頃にバンド活動や曲作りなど熱心に取り組んでいた。しかし、80年代のデジタル音楽全盛時代に音楽活動への情熱を失い、ギターを置き去って海外へ旅立つ。90年代に日本で4年半を過ごした後オーストラリアに帰国した彼は、長いブランクを経て再びギターを手にした。訪れた土地、出会った人、自らの人生経験をもとに次々に沸き上がるアイデアを書き溜め、2002年からメルボルンのライブやフォーククラブ、音楽祭などで演奏活動をしている。ライブではフィンガーピッキング奏法によるスティールストリングギターとラップスライドギターのアコースティック演奏を行うが、本作では自身の演奏によるエレキギターとクリス・ラルフによるドラムが加わっている。

本作一曲目の「Stay in Tune」は、オーストラリアに帰国後、弱者切捨て政策に転換した自国の政治を目の当たりにしたリーが当時のハワード政権への批判を込めて書いたロック調のナンバーだ。アイリッシュジグ風のイントロで始まる二曲目の「Toxic Waste」は水俣病が題材。「キューピッドの矢」は恋に振り回される若者の未熟な心を描いた、エレキギターのソロが泣くように奏でられるカントリーブルース。4曲目の「黒犬が哭く」はうつをテーマにしたナンバー。黒犬とは英国のチャーチル元首相が自身のうつを指して使っていた言葉である。CDのタイトルでもある「運命にスライディング」は、雨の日の運転中にスリップした自己の経験をもとに作られた。ちなみにSlidingには「スリップする」と「スライドギターを奏でる」という二つの意味がある。「ハートアタック」は音楽仲間の心臓発作体験を唄ったもの(ちなみに当人は一命をとりとめ現在も健在である)。ユニークなラップスライドギターと心臓の鼓動を思わせる効果音が臨場感を感じさせるナンバーだ。「Train Ride」は飽き飽きする長距離通勤にポジティブな光を当てようとした曲で鉄道オタクのリーの父がモデルとなっている。ラップスライドギターのダイナミックなサウンドが鉄道の旅を感じさせるカントリー調のナンバーだ。ムロランはリーの妻の実家がある北海道室蘭市を題材にしたフォーク。「Never Overlap」は、別れる前に新しい交際を始めることの悲劇を描いたロック調のナンバー。「今朝目覚めたら」はお約束の「ベイビーに捨てられた」テーマのブルースで、エレキギターのリードもリー自身が演奏している。「I want to go home」は、アメリカ滞時に9.11事件に遭遇し足止めを食らった自己の体験をベースに書いたラップスライドギターによるアコースティックナンバーだ。

リー・スロゲット日本語サイト <http://luckyleigh.com/shop.html>

1. STAY IN TUNE

ほら 新聞の捏造記事
ゆがめられた真実
ほら 虚栄心の政治家
国民の目眩ます腐敗
稼ぎまくる CEO
株価上げるためだけに
地球破壊は増すばかりだが
株価上がれば 誰も気にしない

*
Stay in tune, stay in tune, stay in tune
世の動きに Stay in tune
Stay in tune, stay in tune, stay in tune
ほら 目を離したら 騙されるぞ

あくせく働く俺達
ひとときの余暇もない
職は海外へ逃げる
安い賃金 安い命
圧政からの避難民
歓迎されず国境閉鎖
入国者は隔離され
慟哭の声届かない

*繰り返し

2. TOXIC WASTE

気になるのさ 世の中のこと
気にかかるから この子のこと
透明な海で泳いで欲しい
大樹の陰で休んで欲しい
ぜんそくで喘がないで欲しいし
ましてやダイオキシン中毒死

昨夜のドキュメンタリーTV
水俣病の苦しみ
チソ工場のやり放題
漁師が魚捕る海で
家族が食べる魚
誰も言わなかった 毒のこと
水銀まみれの廃水

Toxic Waste, oh toxic waste
主の手はどこに toxic waste
漕ぎゆく海の中に
皿に盛った魚に
我が子のゆがんだ顔に
宿る主よ 憎むべき創造

3. キューピッドの矢

キューピッドの矢を折ったとき
我に返った
矢の毒が脳に作用した
定めた方角 人生計画
でもハートを射られ
別人になった
友人を忘れ
まともじゃなかった
一諸にいない日は
切なすぎて
会えぬ時間長く
会える時間早く
欲しいものは何でも
おねだりされた

*
だからキューピッドの矢を折って
我に返った
愛は幸せ
でも恋は辛いだけ

何度も言い聞かせる
二度と落ちるな
燃え尽きたくなければ
クールでいなきゃ
真昼の氷のように
毅然としても
すぐにとろけてしまい
このごまかさ
意思も精神も
強いと思ってた
でもハート射られたら
それまでさ

*繰り返し

4. 黒犬が哭く

ニーズが満たされる
ことは少ない
心に傷を負い
後悔少し
生きとし生けるもの
網にかかる
生きるとき死ぬとき
運命(さだめ)がある

*
黒犬が哭く
黒犬が哭く
夜通し遠吠え
心に響く

日没の空見た
深まる闇
雨雲に覆われ
黒犬が哭く
君の手 膝に触れ
電光石火
君のいない人生
想い沈む

*繰り返し

季節はめぐり
全ては逝く
思い出だけ残し
強者は行く
だから一緒にいよう
情熱のため
情熱の稀有な花
咲かせば華

*繰り返し

5. 運命にスライディング

人生は雨の日のガソリンスリップ
急ブレーキ効かずにタイヤ空転
だから運命にスライディング
助かるも運
ハンドル握り目を閉じ
衝突を待つ
コントロールしてた
はずだったのに
運転席で凍り
身を隠す場もない
だから運命にスライディング
衝突を待つ

やっど停車して息を吹き返す
今回はついてた 視界はクリア
でも自信は揺らぎ
しばし茫然

愚か者でも分かるさ 時は来るって
坂道下りすぎて
停止線越える日
だから運命にスライディング
衝突を待つ
ハンドル握り目を閉じ
ツキを願う
でも運ははずれ尽きる
みんな順番に
坂道を下っている
世の終わりに
トラックに吸い込まれる
数秒が長く
人生の走馬灯
時が来たとき知る
運命にスライディング
人生は短い

あの日々が一瞬のよう
こと尽きるとき
したたる雫のように
流れ去る日々
運命にスライディング
人生は短い
運命にスライディング
人生は短い
短すぎる
短すぎる

6. 頑張っていこう

インストゥルメンタル

7. ハートアタック

ああ こんな痛みは初めて
床にあお向け
天国のドアへの地獄の門

不摂生はたたる
のにタカをくくってた
仕事のストレスは当たり前

でも突然変わった人生再計画
カインの手中のアベル
暴走機関車

誰止めるギロチンチョップ
転落の発作
忍び寄る衰弱
壁に激突の日 もうすぐ

ハートアタック 突然
予兆なしにくる
次の瞬間には
墓の中

グッバイ・ファミリー
グッバイ・フレンド
もう僕を頼るな
軌道修正の時
ここが終点

言わなかったこと
最期に言いたい
起き上がりたいから
手を貸して

愛する友よ
会えてよかった
君の幸福を祈っている

海に見える丘の
木の下埋めてくれ
僕の魂 自由に

二つの死に方
微笑みか涙か
人生良かったら
どっちでも

グッバイ グッバイ

8. TRAIN RIDE

7:35の通勤電車
首つなぐためだけにシティまで
ああ周囲はみんな悲壮な顔
でもそれほどひどいわけじゃない

本も音楽もある うたた寝だって
最高の一日の始まり

5時に退社してまた家路に
見知らぬ人で埋まる車両
それでもいいさ 一人ではない
がたごと揺られて休むだけ

本も音楽もある うたた寝だって
最高の一日の終わり

今45 定年65
あと20年揺られる電車
週5 2時間 乗り続ければ
ブルーな気分は吹き飛ばさ

本も音楽もある うたた寝だって
最高の一日の憩い

鉄道オタク 物好きだなと
普通なら気が狂うかもね
同類はああ数えるほど
でも気にしてる暇などないさ

だって窓眺めていりゃ 悩み薄らぐ
景色は流れ去ってゆくから
だって窓眺めていりゃ 悩み薄らぐ
景色は流れ去ってゆくから

9. ムロラン

晴れの日も 灰色の街
It's shutting down, it's shutting down

職求め 去りゆく若者
It's shutting down, it's shutting down

*
ムロラン ムロラン
愛する故郷
ムロラン ムロラン ムロラン
ふるさとの街
It's shutting down, it's shutting down
ムロラン ムロラン ムロラン

大事な家族 でも残れない
It's shutting down, it's shutting down

友は転地で 家庭を築く
It's shutting down, it's shutting down

*繰り返し

鉄の城下町 円高の波で
高炉の火が揺らぐ

街守人も 一人また一人
It's shutting down, it's shutting down

*繰り返し

10. NEVER OVERLAP

罅に落ちた
誤った
手遅れだ
お手上げさ

ハッピーだったのに
君が来て
調子が狂い
寝られない

*
はめられた
解放されたいんだ
誰もが言うのさ
Never Overlap
はめられた
あの子裏切るとき
分かっていたなら
Never Overlap

そこに立つ君に
イチコロで
抜け出せなかった
完敗さ
でも きれいに済まず
この修羅場
別れの葛藤
切れぬ縁

*繰り返し

1:2 じゃあぶれる
一人がいい
魔が差さなかったら
真っ直ぐ歩いてた
でも 孤独に死ぬのさ
この罪で
天国の門で
裁かれる

*繰り返し

11. 今朝目覚めたら

今朝目覚めたら
悪いニュースが
今朝目覚めたら
悪いニュースが
すごくイヤな気分
妙に胸騒ぎ

横で寝てた彼女
もういなかった
横で寝てた彼女
もういなかった
でもマジ気になる
何しでかしたのか

ふるえて目覚めたら
毛布がなかった
ふるえて目覚めたら
そう、毛布がなかった
部屋を見渡すと
家財がなかった

タバ飲みに行った
ローカル・バーに
タバ飲みに行った
ローカル・バーに
ダチの連れと話したら
彼女がキレた

唯一置いてったのは
ベッド脇のメモ
唯一置いてったのは
ベッド脇のメモ
近づいてみたら
こう書いてあった

ゆうべ聞いた寝言
他の女の名
ゆうべ聞いた寝言
他の女の名
今度寝るときには
口に気をつけな

俺の服 時計 電球
ホウキにチリトリ
俺の服 時計 電球
ホウキにチリトリ
鶏と金魚持ってった
マイカップもスプーンも

ああ、めちゃくちゃロンリー
何も出来ないよ
ああ、めちゃくちゃロンリー
何も出来ないよ
このギター借りて君へ
この歌を捧ぐ

12. I WANT TO GO HOME

ローガン空港も JFKも閉鎖
すぐに抜け出したいけどかなわない
誰もがナーバス 途方にくれた
弾薬が積み込まれ 開戦の噂立つ

*
I want to go home 家のベッドで寝たい
ホテルはうんざり 冷房ひんやり
I want to go home 馴染みの場所へ
I want to go home, I want to go home,
home to you

ああ オデッセウス そうなのか
奇妙な風が僕の 行く手を阻むわけ
不運逃れる 策を練っても
神の意に背くなら そこで足止めさ

*繰り返し

広がる貧困 飽食の我ら
石油利権支配で この始末さ
腐敗中毒 皆お見通し
それは破滅の種 黒い影忍び寄る

*繰り返し